

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年2月7日

上場会社名 株式会社不動テトラ 上場取引所 東
 コード番号 1813 URL http://fudotetra.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥田 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部財務部長 (氏名) 北川 昌一 (TEL) (03)5644-8500
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	51,754	8.3	3,628	38.2	3,628	35.3	2,484	36.4
2019年3月期第3四半期	47,777	3.3	2,624	△26.5	2,682	△25.2	1,822	△25.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,554百万円(38.0%) 2019年3月期第3四半期 1,851百万円(△31.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	156.04	—
2019年3月期第3四半期	112.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	50,994	27,707	53.6
2019年3月期	53,826	26,439	48.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 27,356百万円 2019年3月期 26,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	5.8	3,750	4.7	3,750	2.9	2,500	2.5	156.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	16,489,522株	2019年3月期	16,489,522株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	656,865株	2019年3月期	297,793株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	15,919,454株	2019年3月期3Q	16,252,849株

(注) 当社は、2017年3月期第2四半期より、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が保有する当社株式(2020年3月期第3四半期:105,373株)を、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

建設業界におきましては、民間建設投資は、建築着工床面積に翳りがあるものの、政府建設投資は当年度の当初公共事業予算の増もあり、全般では堅調に推移いたしました。

当社グループの業績につきましては、受注高は土木事業で新規工事の受注が減少し、48,930百万円（前年同四半期比24.2%減）となりましたが、手持ち受注高は77,245百万円と高水準な状況を維持しており、売上高は51,754百万円（前年同四半期比8.3%増）と増収となりました。

また、利益面では工事採算性について引き続き良好な状況が続いたことから、営業利益は3,628百万円（前年同四半期比38.2%増）、経常利益は3,628百万円（前年同四半期比35.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,484百万円（前年同四半期比36.4%増）とそれぞれ増益となりました。

報告セグメントの業績は次の通りです。（セグメント情報の詳細については、8ページをご覧ください。）

(単位：百万円)

		前第3四半期	当第3四半期	増減
期首手持ち受注高	土木事業	41,272	59,961	18,689
	地盤改良事業	16,305	17,012	706
	ブロック事業	223	464	241
	その他	59	44	△15
	調整額	△89	△235	△146
	全社計	57,770	77,245	19,475
受注高	土木事業	38,303	24,332	△13,971
	地盤改良事業	23,354	21,344	△2,010
	ブロック事業	3,024	3,107	84
	その他	432	449	18
	調整額	△521	△303	218
	全社計	64,591	48,930	△15,661
売上高	土木事業	21,522	25,197	3,676
	地盤改良事業	23,971	23,980	9
	ブロック事業	2,171	2,577	405
	その他	443	441	△2
	調整額	△330	△442	△112
	全社計	47,777	51,754	3,977
営業利益	土木事業	400	958	558
	地盤改良事業	2,195	2,524	329
	ブロック事業	39	300	261
	その他	5	18	13
	調整額	△15	△173	△158
	全社計	2,624	3,628	1,004
次期繰越受注高	土木事業	58,053	59,095	1,042
	地盤改良事業	15,689	14,376	△1,313
	ブロック事業	1,075	995	△80
	その他	48	52	4
	調整額	△280	△96	184
	全社計	74,585	74,422	△163

※当該連結累計期間前に外貨建てで受注した海外工事で、当該四半期連結累計期間中の為替変動により、請負金額に増減があるものについては、期首手持ち受注高に反映しております。

(土木事業)

受注高は、24,332百万円（前年同四半期比36.5%減）となりましたが、売上高は、豊富な期首手持ち受注高から25,197百万円（前年同四半期比17.1%増）と増収となったことに加え、工事採算性も良好な状況が続き、営業利益は958百万円（前年同四半期比139.5%増）と増益となりました。

(地盤改良事業)

受注高は、大型工事の時期ズレの影響により21,344百万円（前年同四半期比8.6%減）となりましたが、豊富な期首手持ち工事高から売上高は前期並みの23,980百万円（前年同四半期比0.0%増）となり、また工事採算性も働き方改革に伴うコスト影響が発生しつつあるものの比較的良好な状況が続き、営業利益は2,524百万円（前年同四半期比15.0%増）と増益となりました。

(ブロック事業)

型枠賃貸が災害復旧需要などにより増加し、受注高は3,107百万円（前年同四半期比2.8%増）となり、加えてその進捗も順調で、売上高は2,577百万円（前年同四半期比18.7%増）と増収となったことで、営業利益は300百万円（前年同四半期比669.7%増）と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,833百万円減少し、50,994百万円となりました。

これは、売掛債権（受取手形・完成工事未収入金等）・たな卸資産（未成工事支出金等）などが増加した一方で、工事の大型化に伴い工事立替金が増加したことや支払サイトの短縮に伴う買掛債務等の圧縮により運転資本が一時的に増加し、現金預金・有価証券が減少したことなどによるものです。

負債は、前述の理由などにより前連結会計年度末に比べて4,102百万円減少し、23,286百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当及び自己株式の取得により減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことで前連結会計年度末に比べて1,269百万円増加し、27,707百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月8日に公表しました、通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	12,391	6,008
受取手形・完成工事未収入金等	20,660	25,325
電子記録債権	1,585	2,375
有価証券	2,000	—
未成工事支出金等	917	1,995
販売用不動産	267	267
材料貯蔵品	515	639
未収入金	2,282	1,423
預け金	2,810	2,079
その他	721	1,236
貸倒引当金	△82	△94
流動資産合計	44,068	41,255
固定資産		
有形固定資産	5,889	6,053
無形固定資産	178	312
投資その他の資産		
投資有価証券	1,840	1,895
その他	1,962	1,581
貸倒引当金	△111	△102
投資その他の資産合計	3,692	3,373
固定資産合計	9,759	9,739
資産合計	53,826	50,994
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,250	7,550
電子記録債務	10,750	6,910
短期借入金	900	1,650
未払法人税等	694	385
未成工事受入金等	3,576	3,635
引当金	1,085	535
その他	1,298	1,081
流動負債合計	25,553	21,746
固定負債		
引当金	51	51
退職給付に係る負債	1,511	1,197
その他	273	293
固定負債合計	1,835	1,541
負債合計	27,388	23,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	14,756	14,756
利益剰余金	6,605	8,277
自己株式	△164	△635
株主資本合計	26,197	27,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122	169
為替換算調整勘定	△152	△153
退職給付に係る調整累計額	△61	△59
その他の包括利益累計額合計	△91	△43
非支配株主持分	332	352
純資産合計	26,439	27,707
負債純資産合計	53,826	50,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高		
完成工事高	45,198	48,851
兼業事業売上高	2,579	2,902
売上高合計	47,777	51,754
売上原価		
完成工事原価	38,534	41,198
兼業事業売上原価	1,638	1,680
売上原価合計	40,172	42,877
売上総利益		
完成工事総利益	6,664	7,654
兼業事業総利益	941	1,222
売上総利益合計	7,605	8,876
販売費及び一般管理費	4,981	5,248
営業利益	2,624	3,628
営業外収益		
受取配当金	66	68
特許実施収入	21	9
その他	29	18
営業外収益合計	115	95
営業外費用		
支払利息	17	15
支払手数料	14	13
支払保証料	17	22
為替差損	—	11
その他	9	33
営業外費用合計	58	95
経常利益	2,682	3,628
特別利益		
固定資産売却益	13	24
投資有価証券売却益	38	—
その他	1	—
特別利益合計	52	24
特別損失		
固定資産売却損	6	0
固定資産除却損	4	10
損害賠償金	1	0
その他	2	0
特別損失合計	14	11
税金等調整前四半期純利益	2,721	3,641
法人税、住民税及び事業税	484	782
法人税等調整額	392	354
法人税等合計	876	1,136
四半期純利益	1,845	2,506
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,822	2,484

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,845	2,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	47
為替換算調整勘定	△3	△2
退職給付に係る調整額	73	2
その他の包括利益合計	6	48
四半期包括利益	1,851	2,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,828	2,532
非支配株主に係る四半期包括利益	23	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木事業	地盤改良 事業	ブロック 事業	合計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	20,821	24,576	2,165	47,562	214	47,777	—	47,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	701	△605	7	102	228	330	△330	—
計	21,522	23,971	2,171	47,664	443	48,107	△330	47,777
セグメント利益	400	2,195	39	2,635	5	2,639	△15	2,624

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険等のサービス事業等からなります。

2 セグメント利益の調整額△15百万円には、セグメント間取引消去32百万円、全社費用△44百万円、その他の調整額△3百万円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木事業	地盤改良 事業	ブロック 事業	合計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	24,603	24,357	2,565	51,524	230	51,754	—	51,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	595	△376	12	231	211	442	△442	—
計	25,197	23,980	2,577	51,755	441	52,195	△442	51,754
セグメント利益	958	2,524	300	3,783	18	3,801	△173	3,628

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険等のサービス事業等からなります。

2 セグメント利益の調整額△173百万円には、セグメント間取引消去31百万円、全社費用△206百万円、その他の調整額2百万円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。